

5

Annual Report 2015

卷末資料

院内行事

新規医療機器紹介

患者会・家族会活動実績

資格取得奨励支援制度

提案制度

学会発表実績

院内行事

	行事
4月	入社式
	青空いきいきウォーキング
6月	法人内認定看護師 認定式
7月	病院こども探検隊
9月	大規模災害訓練
	合同慰霊祭
10月	手洗い選手権
11月	消防訓練
	クリーンウォーキング
12月	クリスマスコンサート
	白十字会大忘年会
1月	年頭挨拶
	院内成人式
	白十字会 Institute
3月	地震避難訓練
	院内看護研究学会

クリスマスコンサート

12月19日(土)1階ロビーにおいて恒例のクリスマスコンサートが開催されました。

毎年、多職種の職員が出演し、演奏を行っています。合唱にあわせて一緒に口ずさんだり、手拍子をしたりとご入院されている患者さんやご家族の方にクリスマスの雰囲気を楽しんでいただきました。

また、バルーンアートのパフォーマンスもあり、風船をふくらませ、あっという間にかわいい動物やサンタクロースを作るテクニックに驚かされました。

コンサート終了後には、ささやかなクリスマスプレゼントが皆さんへ渡されました。



入社式

4月1日(水)、2015年度 社会医療法人財団白十字会の入社式が行われました。今年度より南館に新しくできた講義室で開催されました。



白十字会大忘年会

12月15日(火)、16日(水)の2日間にわたり、白十字会グループの大忘年会が開催され約650名の職員が参加しました。

開宴に先立ち、提案委員会表彰、永年勤続表彰が行われ、その後病院ボランティアとしてご活躍いただいている皆様への感謝状贈呈式が行われました。

忘年会は他部署との交流を図ることができる大切な機会です。いくつかの部署をミックスしたテーブル席で、美味しい料理や富くじ抽選会、バラエティに富んだ余興を楽しみました。



新規医療機器紹介

リハビリテーション部

●InBody S10

近年、リハビリテーション分野においても栄養指標をもとに運動負荷量の設定が重要視されています。InBodyは、体を構成する基本成分である体水分、タンパク質、ミネラル、体脂肪を定量的に分析し、栄養状態に問題がないか、体がむくんでいないか、身体はバランスよく発達しているかなど、人体成分の過不足を評価する検査です。さまざまなタイプがあり、当院で活用しているS10の特徴としては、測定姿勢が仰臥位・座位・立位から選択できる携帯用InBodyです。



●結果項目

【体成分】

体水分量(細胞内・外水分量)、タンパク質量、ミネラル量、体脂肪量、除脂肪量

【体重評価】

体重、筋肉量、体脂肪量

【肥満評価】

BMI、体脂肪率

【部位評価】

筋肉量、水分量、細胞内水分量、細胞外水分量、体脂肪量

【水分均衡】

全身・部位別細胞外水分(ECW/TBW)

【研究項目】

骨格筋量、骨ミネラル量、体細胞量、基礎代謝量、内臓脂肪断面積など

●当院での活用状況

- ・糖尿病教育患者に対する運動療法前後の比較
- ・胃切除術前後の運動効果
- ・心臓カテーテル検査入院患者に対する運動意欲の向上
- ・人工膝関節全置換術前後、運動療法介入後の筋萎縮の程度とリハの効果の確認
- ・NST回診時における対象患者の体組成成分の報告、経過記録。

InBody		BIOSPAC						
ID: BIO_208	身長 156.9cm	日付 2012.11.19	TEL:03-5298-7667 FAX:03-5298-7668					
年齢 51	性別 女性	時間 11:29:00						
体成分分析 Body Composition Analysis								
項目	単位	測定値	標準範囲					
細胞内水分量	L	16.6	16.3 ~ 19.9					
細胞外水分量	L	10.9	10.0 ~ 12.2					
タンパク質 + ミネラル量	kg	9.8	9.4 ~ 11.6					
体脂肪量	kg	21.8	10.3 ~ 16.5					
筋内・脂肪 Soft Lean-Fat Analysis								
項目	単位	測定値	標準範囲					
体重	kg	59.1	43.9 ~ 59.5					
筋肉量	kg	35.1	33.8 ~ 41.4					
体脂肪量	kg	21.8	10.3 ~ 16.5					
肥満指標 Obesity Index Analysis								
項目	単位	測定値	標準範囲					
BMI	kg/m ²	24.0	18.5 ~ 25.0					
体脂肪率	%	36.9	18.0 ~ 28.0					
部位別筋肉量 Segmental Lean Analysis								
測定部位	単位	測定値	標準範囲					
右腕	kg	2.02	1.51 ~ 2.27					
*左腕	kg	1.94	1.51 ~ 2.27					
体幹	kg	17.7	15.5 ~ 18.9					
*右脚	kg	5.20	5.38 ~ 6.58					
左脚	kg	5.02	5.38 ~ 6.58					
部位別水分量 Segmental Water Analysis								
測定部位	単位	測定値	標準範囲					
右腕	L	1.58	1.18 ~ 1.78					
*左腕	L	1.52	1.18 ~ 1.78					
体幹	L	13.4	12.1 ~ 14.8					
*右脚	L	4.21	4.21 ~ 5.15					
左脚	L	4.08	4.21 ~ 5.15					
体成分履歴 Body Composition History								
No.	日時	年齢	性別	身長	体重	体脂肪率	ECW/TBW	TBWWFM
1	12/11/19	51	女性	156.9	59.1	36.9	16.6	10.9
2	12/11/18	51	女性	156.9	59.1	36.9	16.6	10.9
3	12/10/15	51	女性	156.9	59.1	36.9	16.6	10.9
4	12/10/12	51	女性	156.9	59.1	36.9	16.6	10.9
5	12/06/10	51	女性	156.9	59.1	36.9	16.6	10.9
6	12/06/02	51	女性	156.9	59.1	36.9	16.6	10.9
7	12/07/15	51	女性	156.9	59.1	36.9	16.6	10.9
8	12/06/02	51	女性	156.9	59.1	36.9	16.6	10.9
9	12/04/02	51	女性	156.9	59.1	36.9	16.6	10.9
10	12/04/10	51	女性	156.9	59.1	36.9	16.6	10.9
研究項目 Additional Data								
骨格筋量	19.6kg (19.5 ~ 23.9)	インピーダンス	Impedance					
タンパク質量	7.2kg (7.0 ~ 8.6)	Z _{max}	154Hz 375.6 392.7 268.8 306.1 316.1					
骨ミネラル量	2.18kg (2.01 ~ 2.45)	Z _{min}	50kHz 377.1 385.4 287.7 303.0 314.1					
基礎代謝量	23.8kcal (23.4 ~ 28.6)	体細胞量	250kHz 357.2 352.1 23.0 282.3 289.8					
基礎代謝率	1170kcal	内臓脂肪断面積	500kHz 297.9 313.3 19.1 258.1 267.8					
TBWWFM	73.7%		1500Hz 286.4 297.4 17.0 245.5 264.0					
		X _{50kHz}	12.0 11.6 2.1 9.0 8.8					
		X _{50kHz}	26.2 25.0 2.3 19.8 19.1					
		X _{250kHz}	23.3 21.6 2.4 13.1 13.9					
		Phase	51kHz 2.5 2.4 3.2 2.4 2.3					
		Angle@50 kHz	6.1 5.2 3.9 5.3 5.2					
			250kHz 7.0 6.4 2.8 3.5 3.5					

●イトーUS711 (超音波治療機器)

●効果

厚い筋肉や脂肪層の奥の深い疾患部に1秒間に100万回のマイクロマッサージと立体加温で、深部の疾患部を直接刺激します。プローブにLサイズとSサイズがあり、腰や肩など広い部位・手や指先など狭い部分のどちらにも対応できます。

●当院での活用状況

当院では、整形外科病棟開設とともに術後患者を対象にリハビリテーションを実施しています。そこで問題の多くは術後の組織の癒着や疼痛ですが、徒手的治疗と物理療法を併用する事で更に高い改善効果が得られると示されています。

超音波

- ・疼痛の寛解
- ・微小マッサージ
- ・筋肉痛及び
- ・関節痛の軽減



電流
刺激

- ・鎮痛及び
- 筋萎縮改善



臨床検査技術部

●ラピッドポイント500血液ガス分析装置

緊急検査に必須の血液ガス分析装置を救急外来へ新規設置し、検査室、手術室の機械を同一機械へ入れ替えを実施しました。試薬や電極を一体化させたカートリッジ方式を採用することでメンテナンスが簡便で、従来の機械よりも操作方法が簡便になりました。従来から導入されていた透析室と合わせて院内4つの部署で同一機械を採用したことによりトラブル対応、消耗品コストの削減が可能となります。また、院内各部署に設置されている装置を一括管理できるシステムを同時に採用し、遠隔から一元管理が可能となり効率的な機械の運用が出来るようになりました。



患者会・家族会活動実績

日本糖尿病協会長崎支部「佐世保みなと会」

佐世保みなと会とは、昭和43年、日本糖尿病協会の長崎県支部佐世保分会として、糖尿病患者を中心に佐世保中央病院にて発足された患者会です。糖尿病に関する講習会、運動療法の実技・実習に関する講習会、専門誌の配布など様々なことを計画・実施しています。

活動内容

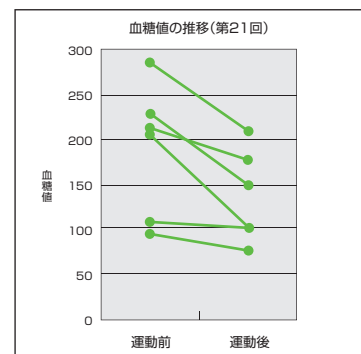
①総会の開催

年に1回、11月に開催しています。医師、看護師、理学療法士、栄養士、検査技師などの参加のもと、総会、講演会、懇親会、グループワークなどを開催しています。



②運動療法講座「青空いきいきウォーキング」の開催

毎年、5月と10月に理学療法士を中心に開催しています。看護師や医師も同行しながら、ウォーキングや予防体操などを行っています。ただ歩くだけでなく、毎回、糖尿病に関するショートレクチャーを用意しています。参加者は、運動の前後で血圧・血糖・体重などの測定を行い、変化を一目で見ることができ、運動の効果が楽しみながらわかります。



過去に参加された方々の血糖値の推移です。このように運動によって血糖値が下がってます。

③1型糖尿病の会「1型サークル」の開催

日本では、糖尿病患者のうち95%以上が2型糖尿病ですが、この会は1型糖尿病の患者さんを対象とした会です。2011年4月より、講演会、懇親会などを開催しています。



④糖尿病のことがなんでもわかる月刊誌「さかえ」の配布

月刊誌「さかえ」は、糖尿病療養の最新情報、食事療法を活用したクッキングレシピ、療養生活のちょっとしたコツ、患者さんの体験談、医療スタッフの声などが掲載された糖尿病専門雑誌です。入会すると毎月読むことができます。糖尿病や予防に関する最新の正しい知識を取得することができます。

リウマチ友の会

2000年7月8日、リウマチ全般に関して活発かつ自由な討論が出来る場をつくり、病気に関する理解を深めることを目的に佐世保中央病院に『リウマチ友の会』が発足しました。

患者同士が親睦を図り、様々な医療情報や生活の工夫を交換し、交流できるように、そして医療従事者と患者さんが一体となりチームワークを組んで治療・ケアを行っている礎となるように活動しています。

活動内容

①リウマチ友の会開催

※過去開催された題目、内容(一部)

■医師講話

- ・「関節リウマチの最新の治療」
- ・「リウマチ治療30年」
- ・「関節リウマチと骨粗鬆症」

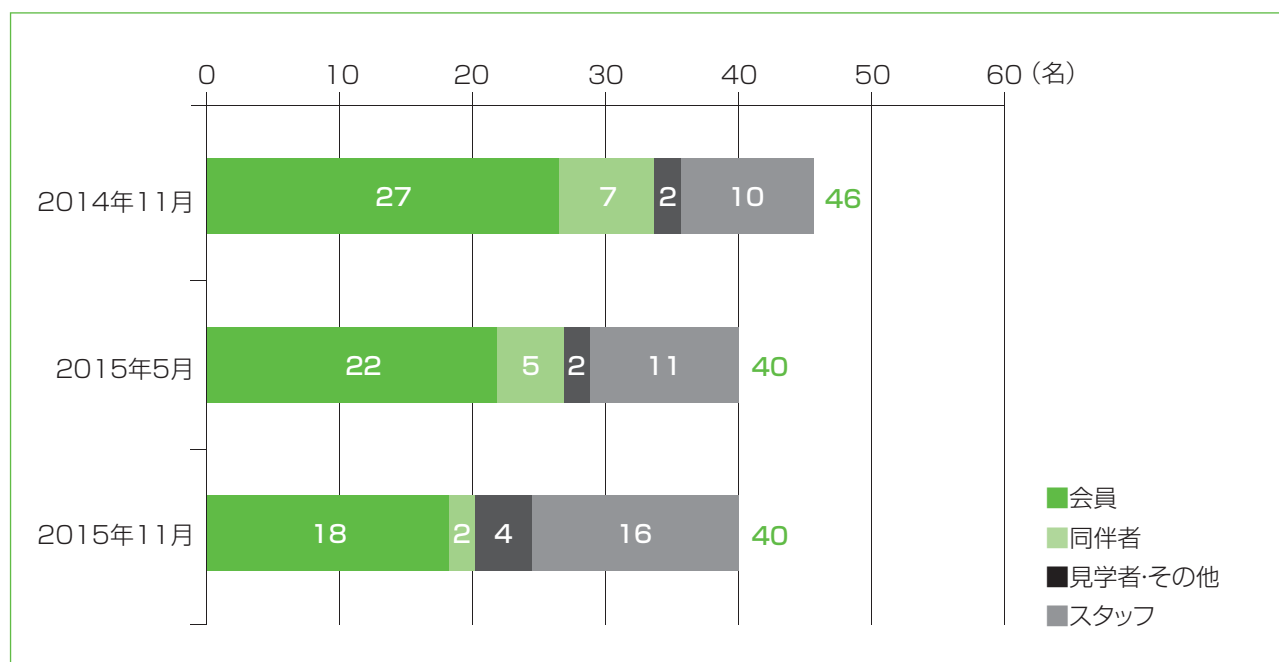


医師講話

●2014年度/2015年度 リウマチ友の会参加人数

(名)

	2014年11月1日	2015年5月9日	2015年11月14日
会 員	27	22	18
同伴者	7	5	2
見学者・その他	2	2	4
スタッフ	10	11	16
合 計	46	40	40



メモリー・クラスルーム(認知症健康教室)

認知症に対する理解を深めることで、適切な介護方法を理解し、行動心理症状(BPSD)の予防や介護負担を軽減することができます。当センター受診の予約をされて待機中のご家族や、診察検査が終わり確定診断を受けられたご家族を対象に、認知症の健康教室を毎月1回開催しています。また、2015年度からは、より具体的な対応方法を学んでいただくために中級編を開催しました。

健康教室内容

《初級編》

- ①認知症ってどういう病気?
- ②治療薬のお話
- ③適切な介護について、
患者さんの心の中を知る
- ④介護体験談(『認知症の人と家族の会』より)
- ⑤介護保険認定の申請方法、
介護施設の上手な利用法について

《中級編》

- ①アルツハイマー型認知症、レビー小体型認知症、
前頭側頭葉変性症のBPSDの対応方法
(センター職員の寸劇、ドリームケア各所長の解説)
- ②患者・家族と職員によるグループディスカッション
- ③介護施設の上手な利用方法
(白十字会ケアプランセンター)

開催実績(初級編)

	診療前参加家族数	診療後参加家族数	合計		関連職員 参加(人)	総参加 人数
	※()内は全体の総参加家族数に対する割合		家族数	人数		
第44回(2015年 4月)	4(44%)	5(56%)	9	16	4	20
第45回(2015年 5月)	9(50%)	9(50%)	18	31	4	35
第46回(2015年 6月)	5(56%)	4(44%)	9	12	1	13
第47回(2015年 7月)	5(71%)	2(29%)	7	14	0	14
第48回(2015年 9月)	4(25%)	12(75%)	16	28	2	30
第49回(2015年11月)	3(33%)	6(67%)	9	16	6	22
第50回(2015年12月)	0	2(100%)	2	3	0	3
第51回(2016年 2月)	9(41%)	13(59%)	22	35	3	38
合計	39	53	92	155	20	175

開催実績(中級編)

	合計		関連職員 参加(人)	総参加 人数
	家族数	人数		
第1回(2015年 7月)	24	36	3	39
第2回(2015年10月)	15	21	1	22
第3回(2016年 1月)	7	11	0	11
第4回(2016年 3月)	11	15	2	17
合計	57	83	6	89

※関連職員:長寿社会課職員、市内地域包括支援センター職員、DC職員

緩和ケアチーム

がん治療は今、「緩和ケア=末期」ではなく「早期からがん治療の大きな柱として取り入れよう」と変化しています。「痛みやつらさ」を和らげ【がんサバイバー】として、自分らしく堂々と生きるサポートを行っています。

1.医療者向け教育研修会

- (1)【緩和ケア医師研修会】
- (2)【看取りケア】 共催：長崎県看護協会・佐世保看看連携推進委員会
- (3)【緩和医療研究会・ランチョン・ミーティング】



2.ピュアサポート:【がんサロン絆】

3.【緩和ケア啓発:街頭キャンペーン】

4.遺族会

5.がん治療を知るセミナー【病院へ行こう】



主催:女性特有のがん対策プロジェクト:「長崎県医療政策課」・「NPO法人葵会」

資格取得奨励支援制度

職員が自らの職能の向上をめざし学習・研鑽する意欲を奨励、支援、助成し、医療・介護の質の向上に寄与することを目的としています。資格は職務の質の向上に寄与する程度や難易度によって、「奨励資格」、「支援資格」、「評価資格」の3つに分類されています。ここでは、制度を利用し「支援資格」に合格した実績を紹介します。

部門	資格名	合格者数(名)
看護部	AHA ACLSプロバイダー	13
	認定看護管理者教育課程(ファーストレベル研修)	2
	認定看護管理者教育課程(セカンドレベル研修)	1
	JNTEC(外傷初期看護)プロバイダー	1
薬剤部	栄養サポートチーム(NST)専門療法士	1
放射線技術部	放射線治療専門放射線技師	1
臨床検査技術部	二級臨床検査士(微生物学、病理学、臨床化学、血液学、血清学、循環生理学、神経生理学、呼吸生理学)	1
リハビリテーション部	認定理学療法士(呼吸)	1
	認定理学療法士(脳卒中)	1
	認定理学療法士(運動器)	2
合計		24

提案制度

●提案制度について

当院では、業務の改善や改革などに寄与する職員の提案を奨励し、その提案を積極的に採用することにより、組織に対する参加意識を高め、職場風土の活性化を促進するために提案制度が設けられています。

提案事項は業務に関連した創意と工夫による内容とし、全ての職員が提案する資格を有しています。また、担当職務範囲を超えたものでもよく、共同提案も可能となっています。

提案事項は提案委員会が受付窓口となっており、定期的に審議し採否を決定しています。採用された提案については、提案規定に基づき表彰を行っています。

●直近5年間の提案件数

(提案制度の1期は11月～翌年10月までです)

	2011年期	2012年期	2013年期	2014年期	2015年期
提案件数	53件	39件	35件	32件	40件
(うち採用)	34件	21件	27件	18件	26件
(うち不採用)	10件	10件	7件	7件	6件
(保留)	—	2件	1件	1件	3件
(差し戻し)	5件	1件	—	3件	2件
(その他)	4件	5件	—	3件	3件

●直近5年間の表彰実績

	2011年期	2012年期	2013年期	2014年期	2015年期
施設表彰・金賞	該当なし	1名	1名	該当なし	1名
施設表彰・銀賞	1名	1名	1名	2名	1名
施設表彰・銅賞	7名	2名	3名	3名	6名

※施設表彰金賞、銀賞は優秀な提案に対して送られる表彰となっており、銅賞は提案制度年間ポイント上位者表彰となっています。

新聞記事などの紹介

掲載月	掲載社	掲載内容
2015年 7月	NHK テレビ佐世保 長崎新聞 西日本新聞	「病院こども探検隊」
2015年 8月	読売新聞	「佐世保中央病院看護外来」
	長崎新聞	「認知症市民公開講座」
	西日本新聞	「菅村医師 海外医療支援活動」
2015年 9月	西日本新聞	「井手医師 認知症疾患医療センターの活動」
	長崎新聞	「大規模災害訓練」
2015年11月	長崎新聞	「佐世保中央病院医療秘書・看護外来」
	西日本新聞	「富永理事長 白十字会グループの取り組み」
2015年12月	テレビ佐世保	「冬季感染予防啓発活動」
2016年 2月	テレビ佐世保	「耳鼻咽喉科大里医師 花粉症について」
	長崎新聞	「佐世保中央病院 看護部男子会」
2016年 3月	テレビ佐世保	「病院へ行こう! がん治療を知るセミナー」

学会発表実績

部署	氏名	学会名	会期	演題名
小児科	犬塚 幹	第195回 日本小児科学会 会長崎地方会	4月12日	朝起き不良を示す 小児に対する高照度光療法の有効性
	犬塚 幹	第118回 日本小児科学会 学術集会	4月 17~19日	起立性調節障害に対する 漢方薬の有効性について
リウマチ・ 膠原病科	植木 幸孝	第59回 日本リウマチ学会総会・学 術集会	4月 23~25日	生物学的製剤不応RA患者に対する トファシチニブの有効性と安全性の検討
	荒牧 俊幸			高齢者のリウマチ性疾患
糖尿病リウマチ 膠原病センター	加藤 陽子 菅沼 徳恵			当院における血清反応陰性関節リウマチ患者 の背景と治療選択についての検討
外科	重政 有	第52回 九州外科学会	5月 8~9日	比較的長期間生存した 直腸内分泌細胞癌の1例
	草場 隆史			胃粘膜下腫瘍に対し腹腔鏡内視鏡 合同胃局所切除を施行した4症例
研修医	村田 和樹			大網に発生したCastleman病の1例
感染制御部	奥田 聖子	第4回 日本感染管理 ネットワーク学術集会	5月 15~16日	当院の増改築工事で経験した 感染管理上の問題を振り返る
臨床検査 技術部	安東摩利子	第64回 日本医学検査学会	5月 16~17日	ISO15189認定取得による効果
消化器内科	加茂 泰広	第51回 日本肝臓学会総会	5月 21~22日	肝細胞癌における造影パターンと 腫瘍硬度及び悪性度との関連の検討
糖尿病内科	松本 一成	第58回 日本糖尿病学会 年次学術集会	5月 21~24日	糖尿病患者の肺炎の起炎菌に関する 院内サーベイランス調査
	森 良孝			従来の利尿薬による治療が困難な糖尿病性 ネフローゼ症候群に対するトルバプタンの使用経験
3東	二里 哲朗			不安定プラークを有すると思われる 糖尿病患者の臨床的特徴について
栄養管理部	松山 典子	糖尿病教育入院で退院時に感情的負担度が 上昇した患者における自己効力感の変化と背景について		SMBG-2Daysに食事写真を併用した 栄養指導の検証
小児科	犬塚 幹	第57回 日本小児神経 学会学術集会	5月 28~30日	朝起き不良を示す起立性調節障害例に 対する高照度光療法の有効性
腎臓内科	森 篤史	第79回 長崎大学第二内科学会	5月30日	チオ硫酸ナトリウムが有効であった 手指のCalciophylaxisの1例
リウマチ・ 膠原病科	植木 幸孝	第4回 静岡T細胞研究会	6月3日	リウマチ治療における循環型医療連携について~信 頼関係構築による連携機能の最大化を目指して~
心臓血管外科	中路 俊	第43回 日本血管外科 学会学術総会	6月 3~5日	当院における下肢静脈瘤血管内レーザー 焼灼術(EVLA)開始に伴う診療体制の整備
外科	重政 有	第27回 日本肝胆膵 外科学会・学術集会	6月 11~13日	胃癌術後、経過観察中に認めた 肝inflammatory pseudotumorの1例
臨床検査 技術部	片瀨 直	第56回 日本臨床細胞学会総会	6月 12~14日	当院における胃癌術中腹水・ 腹腔内洗浄細胞診成績と予後との関連
リハビリ テーション部	吉田真奈美	第20回 日本緩和医療学会 学術大会	6月 18~20日	終末期がん患者の生きる希望と 残される家族を支えたリハビリテーション
	木村沙那恵			1週間の短期退院により自宅で最期の 正月を迎えられた膵癌末期患者の事例
研修医	村田 和樹	第105回 日本消化器病学会	6月 19~20日	テルビナフィンによる高度黄疸を伴った 薬剤性肝障害の1例



部署	氏名	学会名	会期	演題名
リウマチ・膠原病科	植木 幸孝	第22回 大阪リウマチケア研究会	6月20日	長崎県北地区における循環型RA医療連携 ～ララサークルノットを介した医療連携～
腎臓内科	森 篤史	第60回 日本透析医 学会学術集会・総会	6月 26～28日	チオ硫酸ナトリウムが有効であった 手指のcalciophylaxisの一例
脳神経外科	福本 博順	第120回 日本脳神経 外科学会九州支部会	6月27日	アテローム血栓性中大脳動脈閉塞症に対し ステントリトリバーにて再開通療法を行った2例
リハビリ テーション部	松原 賢	第5回 日本ロボットリハビリ テーションケア研究大会	7月11日	脳梗塞の症例に対してHAL訓練を行った経験 -2ヶ月間の歩行への効果-
外科	重政 有	第70回 日本消化器 外科学会総会	7月 15～17日	肝inflammatory pseudotumorの3例
4西	大田たまき 小佐々寛子	第21回 日本心臓 リハビリテーション学会 学術集会	7月 18～19日	多職種での関わりで 術後合併症からの回復できた一例
リハビリ テーション部	川上 章子			慢性心不全患者の心臓リハビリテーション開始時期に おけるリハビリテーション進捗と退院時歩行能力について
	田中 亮輔 田中 恒勢			たこつば心筋症に合併した心室中隔穿孔により パッチ術施行した患者に対しての、離床に向けての取り組み 肺合併症を有する高齢心不全患者に対する 日常生活指導
小児科	犬塚 幹	第196回 日本小児科 学会長崎地方会	7月26日	発達障害例の興奮・衝動性に対する 柴胡加竜骨牡蛎湯の有効性
4西	船崎このみ 吉田 朝美	第30回 日本不整脈学会 学術大会	7月 28～31日	当病棟における 心電図の理解を深める取り組み
健診支援課	田口久美子	第56回 日本人間ドック 学会学術大会	7月 30～31日	がん検診の精密検査受診率向上に対する 取り組みについて
外来・救急外来 看護課	井上 孝子 小楠 文佳	第24回 日本心血管 インターベンション 治療学会	7月30 ～8月1日	AMI/PCI地域連携パスを使用した患者管理 -健康管理手帳の使用前後の患者変化-
4西	山村 緑 山本めぐみ			心臓カテーテル検査 オリエンテーションの実態調査 ～部署間の連携を図った説明ソールの作成を目指して～
放射線科	平尾 幸一	第28回 九州・山口地区 ハイパーサーミア研究会	8月2日	切除不能膀胱癌に対する温熱化学放射線療法 -病期別の治療成績- 切除不能膀胱癌に対する温熱化学放射線療法 -温熱療法の実施回数による治療成績の検討-
研修医	田島 和昌	第23回 日本大腸検査 学会九州支部会	8月22日	潰瘍性大腸炎に合併した 直腸カルチノイドの一例
糖尿病内科	松本 一成	日本臨床コーチング 研究会 2015	8月 22～23日	チームで取り組む 糖尿病臨床コーチングの応用実践
リウマチ・ 膠原病科	植木 幸孝	第50回 九州リウマチ学会	9月 5～6日	関節リウマチ治療中に発症した de novo B型肝炎の2例
	荒牧 俊幸			当院における生物学的製剤使用の変遷
辻 創介	当院関節リウマチ患者における 呼吸器感染症症例の検討			
糖尿病リウマチ 膠原病センター	野口早由里			ペン型エタネルセプト補助具 Eベース指導後の実態調査
3東	松瀬 敦子			当院におけるリウマチ教育入院 パス使用開始後5年間の検討
臨床工学部	前田 博司	第10回 九州臨床工学会	9月 5～6日	在宅連携推進に関する臨床工学技士の関わり
心臓血管外科	谷口真一郎	INTERNATIONAL UNION OF ANGIOLOGY 2015	9月 6～9日	Transcatheter arterial embolization of anomalous systemic arterial supply to the normal basal segment of the left lung.

部署	氏名	学会名	会期	演題名		
経営戦略本部	藪 康人	第21回 日本摂食嚥下 リハビリテーション学会学術大会	9月 11~12日	白十字グループにおける「食べられる 口をつくるプロジェクト(くちプロ)」活動報告		
リハビリ テーション部	岡 亮平	第24回 整形外科 リハビリテーション学会学術集会	9月 20~21日	肩腱板再断裂に対する 上方関節包再建術の一例		
認知症疾患 医療センター	井手 芳彦	第5回 日本認知症予防学会 学術集会	9月 25~27日	「Noise Pareidolia Test」の有用性について ~他の高次脳機能検査との相関性~		
	日和田正俊			急性期病院における看護師の認知症対応力向上プ ログラム~認知症疾患医療センターの取り組み~		
外科	草場 隆史	第40回 日本大腸肛門病 学会九州地方会	9月26日	大腸内分泌細胞癌の2例		
4南	井上智映子	第46回 日本看護学会	9月 29~30日	No残業day導入前後の実態調査		
	柴山 鈴子			ERBD時の患者背景因子における現状調査		
5西・消化器 内視鏡センター	桑原友紀子			ICUの音に関する調査と取り組み ~より良い環境を目指して~		
	松尾 道子			術後訪問定着に向けて ~意識調査と業務内容の見直し~		
ICU・透析 看護課	今村 由紀			在宅復帰支援体制の強化による 連携に関する加算算定増加		
	楠本 直美			大腸癌StageⅡ/Ⅲ症例における 術中腹腔洗浄細胞診陽性例の検討		
手術室・ 中材看護課	岡山 政司			第8回 長崎県臨床工学会大会	10月11日	当院におけるタブレット端末導入について
	中道 季甫					当院における医療機器安全管理
高取広太郎	当直業務開始による問題点と今後の展望					
経営戦略本部	中村 洋子			リハビリテーションケア 合同研究大会・神戸2015	10月 1~3日	当院での慢性被膜化血腫5例に対する 治療経験
外科	重政 有	第23回 日本消化器 関連学会週間	10月 8~11日	大腸癌における術中洗浄細胞診の 臨床病理学的意義		
臨床工学部	森田 晃平	第53回 日本癌治療 学会学術集会	10月29 ~31日	がん周術期後期高齢者がリハビリテーション 継続目的で転院・転所となった因子の検討		
	関谷 光彬			DeBakey Ⅲ型逆行性解離による 腕頭動脈破裂の一救命例		
	高取広太郎			発作時に除脈、呼吸停止、 笑いを示した難治てんかんの12歳男児例		
脳神経外科	榎本 年孝	日本脳神経外科学会 第74回学術総会	10月14 ~16日	トシリズマブ効果不十分であった関節リウマチ に白血球除去療法を併用し著効した2例		
外科	重政 有	第56回 日本脈管学会総会	10月 29~31日	シルビウス裂内髄膜腫の一例		
リハビリ テーション部	木村沙那恵			撮影時平均心拍数と冠動脈描出能の関係 Ctclonography(CTC)を用いた、大腸の長さか 大腸内視鏡検査(CS)に与える影響の検討		
心臓血管外科	谷口真一郎	第49回 日本てんかん 学会学術集会	10月 29~31日	コメディカル部門の組織変革における 経営企画スタッフの役割の考察		
小児科	犬塚 幹	第36回 日本アフェシス 学会学術大会	10月 30~31日	術後早期に多発性肝転移を認めた盲腸内分泌細胞癌と集学的治療により 比較的長期生存がえられた術前肝転移を有した直腸内分泌細胞癌の2例		
リウマチ・ 膠原病科	植木 幸孝	第121回 日本脳神経 外科学会九州支部会	10月31日			
脳神経外科	榎本 年孝	第10回 九州放射線医療技術 学術大会	10月31~ 11月1日			
	森 健大					
放射線技術部	中恵 龍一					
経営戦略本部	藪 康人	第53回 日本医療・病院 管理学会学術総会	11月 5~6日			
外科	重政 有	第70回 日本大腸 肛門病学会学術集会	11月 13~14日			

部署	氏名	学会名	会期	演題名
臨床検査技術部	丸田 千春	平成27年度 日臨技九州支部 医学検査学会	11月 14～15日	当院臨床検査技術部における 医療安全推進への取り組み
	廣川 博子			文書管理委員会の取り組み
	鈴木 涼			エリアSmDpの基礎的検討
リハビリテーション部	田代 伸吾	九州理学療法士・作業療法士 合同学会2015	11月 14～15日	急性期脳卒中患者へのロボットスーツHALの即時効果 ～膝関節自動伸展角度における検証～
地域医療連携課	本 康剛	日本医療マネジメント学会 第14回九州・山口連合大会	11月 20～21日	地域包括ケアシステムにおける 急性期病院の役割と医療福祉連携について
リウマチ・ 膠原病科	植木 幸孝	第30回 日本臨床リウマチ学会	11月 21～22日	循環型リウマチ医療連携の現状報告
	荒牧 俊幸			リウマチ性疾患患者のステロイド性 骨粗鬆症に対するテリパラチドの治療効果
糖尿病リウマチ 膠原病センター	加藤 陽子			長崎県北部におけるリウマチ医療連携 「ララサークル」
臨床検査技術部	本山 高啓	第54回 日本臨床細胞 学会秋期大会	11月 21～22日	非典型的な細胞像を示した膠芽腫の一例
放射線技術部	馬場 隆治	第31回 日本診療 放射線技師学術大会	11月 21～23日	VISTA法を用いた頸動脈プラークの評価
看護部	野口 直美	第10回 医療の質・安全学会 学術集会	11月 22～23日	医師・医療安全管理者・看護師による 夜間報告システムの見直し(第1報) ～転倒転落時の重要度判定評価基準の設定～
4東	橋本 康代			外科病棟におけるチューブ抜去の要因
3西	川口 倫慧			
	桃野 孝介			
医療安全管理部	朝倉加代子			今、私たちが伝えること ～安全教育動画教材の作成を通して～
リハビリテーション部	松原 賢	長崎再生医療研究会	11月25日	左被殻出血を呈した症例に対する HALの効果 ～歩行に着目して～
	池田 修平			
外科	重政 有	第77回 日本臨床外科学会総会	11月 26～28日	結腸直腸癌患者における 腹腔洗浄細胞診の予後的意義
	鋳尾 智幸			ショックを来した出血性Meckel憩室に対して 腹腔鏡下手術を施行した1例
	内田 史武			膵リンパ上皮嚢胞の1切除例
糖尿病内科	松本 一成	第53回 日本糖尿病学会 九州地方会	11月 27～28日	有痛性神経障害に対する薬物の Visual Analogue Scaleによる評価
	二里 哲朗			エキセナチド週1回皮下注射で長期間の血糖 管理が改善した認知症合併糖尿病患者の1例
内科	重野里代子			糖尿病性腎症第2期の2型糖尿病患者に おける5年後のeGFRの変化
3東	野口 操			病棟で看護師が使用する ディスプレイ針の選定について
糖尿病リウマチ 膠原病センター	加藤 陽子			物忘れ相談プログラム(タッチパネル式)を 糖尿病患者に実施して
	城山千鶴子			当院におけるカンパセッションマップ 導入後の患者アンケート
栄養管理部	貴島左知子			写真による食事記録と血糖記録の 有用性を検証
	松永 大輝			HbA1c7.0%未満患者の 行動パターンの傾向(第2報)
	八木 計佑			1型糖尿病患者の食事療法の意識調査と 栄養表示の関係性

部署	氏名	学会名	会期	演題名
臨床検査技術部	安東摩利子			抗GAD抗体陽性患者の検討
リハビリテーション部	川上 章子	第53回 日本糖尿病学会 九州地方会	11月 27~28日	2型糖尿病患者における2ステップテストとTUGおよび握力との関連について
	室島 央典			当院2型糖尿病患者の教育入院前後での運動療法に対する効果判定
	廣田 奈央			2型糖尿病に対する運動療法実施前後でのGait Efficacy Scale(GES)の変化
	下川 善行	第12回 日本神経理学療法学会学術集会	11月 28~29日	神経伝導検査を用いた対麻痺の原因把握が適切な運動療法と装具療法の導入に結びついた一症例
心臓血管外科	谷口真一郎	第28回 日本外科医感染症学会総会学術集会	12月 2~3日	腹部大動脈瘤術後8年目に発症した二次性大動脈十二指腸瘻の1例
消化器内科	岩津 伸一	第106回 日本消化器病学会 九州支部例会	12月 4~5日	肝動脈塞栓術後の経過観察中に病変の消失を認めた門脈腫瘍塞栓を伴う肝細胞癌の1例
研修医	田島 和昌			異なる経過を辿った動脈腸管瘻の3例
呼吸器内科	小林 奨	第21回 長崎県呼吸ケア研究会	12月5日	佐世保中央病院における呼吸療法サポートチーム活動の現状
腎臓内科	森 篤史	第48回 九州人工透析研究会総会	12月6日	チオ硫酸ナトリウムが有効であった手指の難治性皮膚潰瘍の一例
ICU/透析室	藤原勢津子			シャント管理ワーキンググループの活動報告 ~第三報~
	富田 律子			
	岩佐ちさ子			終末期透析患者の在宅支援の1症例
小児科	山田 克彦	第197回 日本小児科学会 長崎地方会	12月20日	発達障害を有する肥満小児7例に対する行動療法
	犬塚 幹			心因性非てんかん性発作を合併し、診断に難渋した前頭葉てんかんの6歳女児
心臓血管外科	中路 俊	第30回 心臓血管外科ウインターセミナー学術集会	1月 24~26日	脳梗塞を契機に見えられた心筋梗塞後左心室瘤内血栓症の一例
3西	桃野 孝介	日本医療マネジメント学会 第16回 長崎支部学術集会	2月6日	外科病棟におけるチューブ抜去の要因
	川口 倫慧			
5西内視鏡センター	山口 友紀			褥瘡対策の現状と今後の課題 ~法人内認定皮膚ケアナースの活動を通して~
3西	藤井 孝子			
臨床検査技術部	坂口麻亜子			感染防止対策加算1施設による相互評価の効果
医療事務課	松瀬 和代			「チーム医療プロジェクト(救急医療)について」事務職員の立場から
臨床検査技術部	濱 晶乃			長崎県臨床検査技師会学会
	清水 菜央	検体採取への取り組み		
	三根明日香	当院におけるトレッドミルを用いた負荷ABI検査について		
臨床工学部	前田 博司	第43回 長崎県人工透析研究会	2月7日	現場の困りごとをかたちへ ~開発事業へ参加して~
薬剤部	岩村 直矢	第19回 長崎県病院薬剤師会感染制御研修会	2月13日	MRSA肺炎患者へのVCM初期投与設計の有用性



部署	氏名	学会名	会期	演題名
リハビリテーション部	池田 修平	第27回 長崎県理学療法 学術大会	2月 20～21日	くも膜下出血後、合併症を考慮し 徐々に安静度を拡大した症例へのアプローチ
	阿部 幸介			排泄動作の介助量軽減に向けたチーム アプローチ～症例のDemandに着目して～
消化器内科	加茂 泰広	JSS九州 第22回 地方会学術集会	2月21日	消化器疾患における超音波エラストグラフィ
呼吸器内科	小林 奨	第39回 日本呼吸器 内視鏡学会九州支部総会	2月 26～27日	GnRHアナログ投与による治療に成功した 稀少部位子宮内膜症の1例
リウマチ・ 膠原病科	江口 勝美	第51回 九州リウマチ学会	3月 5～6日	長期間観察出来たBlau症候群の1家系5症例と孤発例 1症例の経験～早期診断と早期治療の重要性～
リハビリテーション部	大平 康智			当院におけるリウマチ教育入院のリハビリテー ション部の取り組み経過と今後の課題について
	磯部 諄一	第23回 長崎県作業療法学会	3月 5～6日	排泄動作時の上肢、体幹機能に着目した症例 ～麻痺側上肢の使用を目標に～
	橋口 留美			佐世保中央病院における OTの認知症への介入
健康管理部	原田 佳奈	第17回 九州予防医学研究会 学術大会	3月 12～13日	「オリジナル保健指導」の取り組み ～継続的な生活習慣の改善に向けて～
	竹谷美智子			当センターにおける 接遇満足度アンケート結果について
臨床検査 技術部	丸田 千春	第61回 日本臨床検査医学会 九州地方会	3月19日	生理学的検査におけるISO15189認定 取得までの経過および効果
	安東摩利子			当院における検査前手順の改善について